

第3章 市民意向の把握（市民アンケート）

第3章 市民意向の把握（市民アンケート）

本計画の「基本方針」及び「取組み方策」につながる意見を収集し、市民の意向をできるだけ幅広く把握するため無作為抽出による「取手市公共施設に関する市民アンケート調査」を実施しました。

公共施設に対する市民の意識や施設の利用状況、将来に向けた公共施設の今後のあり方や市民ニーズを把握でき、方向性を導くために活用していきます。ここでは、その一部として課題や方向性が見られる部分を紹介します。

（詳細は別冊「取手市公共施設に関する市民アンケート調査報告書」参照）

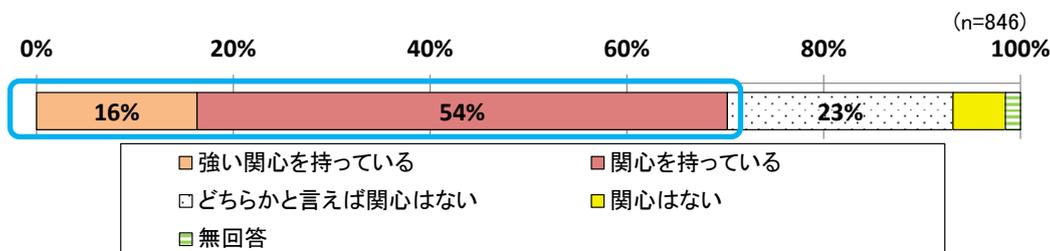
1. 実施方式

- ・調査期間：平成27年7月15日（水）～平成27年7月31日（金）
- ・調査対象：取手市内に在住している20歳以上の市民を対象に、無作為に2,500人を抽出して調査票を送付し、郵送による返信で回収
- ・有効回答者数：846（回収率33.8%）

2. 実施結果

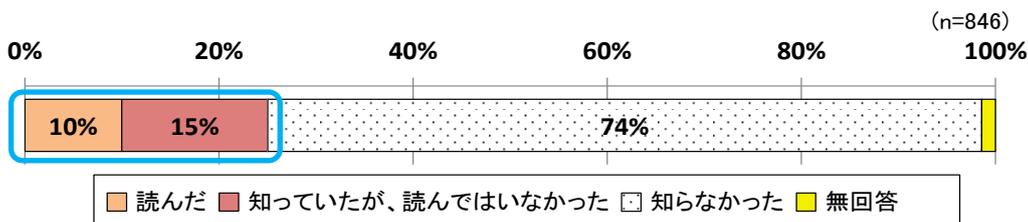
（1）公共施設の老朽化対策に、今後多額の財政負担必要になるという課題を解決するための市の取組みに対する関心（問9）

・「関心がある」との回答が70%と高い傾向が見られます。



（2）公共施設の見直しに向けて施設ごとの利用状況、コスト状況などを「見える化」した「取手市公共施設マネジメント白書」（平成23年5月に策定し、ホームページ・広報紙で紹介）の周知度（問10）

・「読んだことがある」が10%、「知っていた」が15%、合計25%と1/4が知っています。



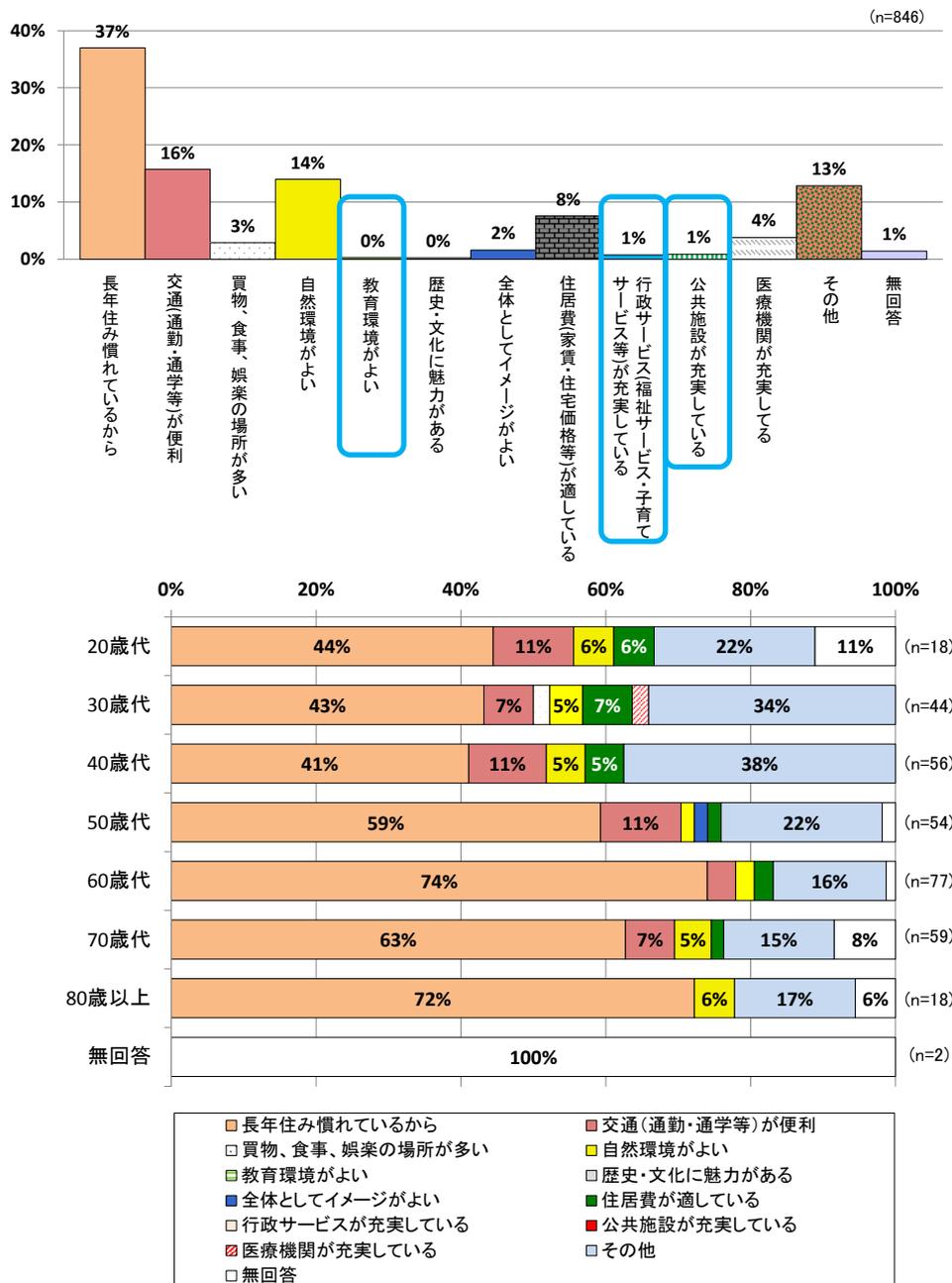
(3) 取手市に住む理由 (問 8)

<住む主な理由として>

- ① 長年住み慣れているから (37%)
- ② 交通が便利 (16%)
- ③ 自然環境が良い (14%) 特に 20~40 歳代, 70~80 歳代で割合が比較的高い
- ④ 住宅費が適している (8%) 特に 20~40 歳代で割合が比較的高い

<課 題>

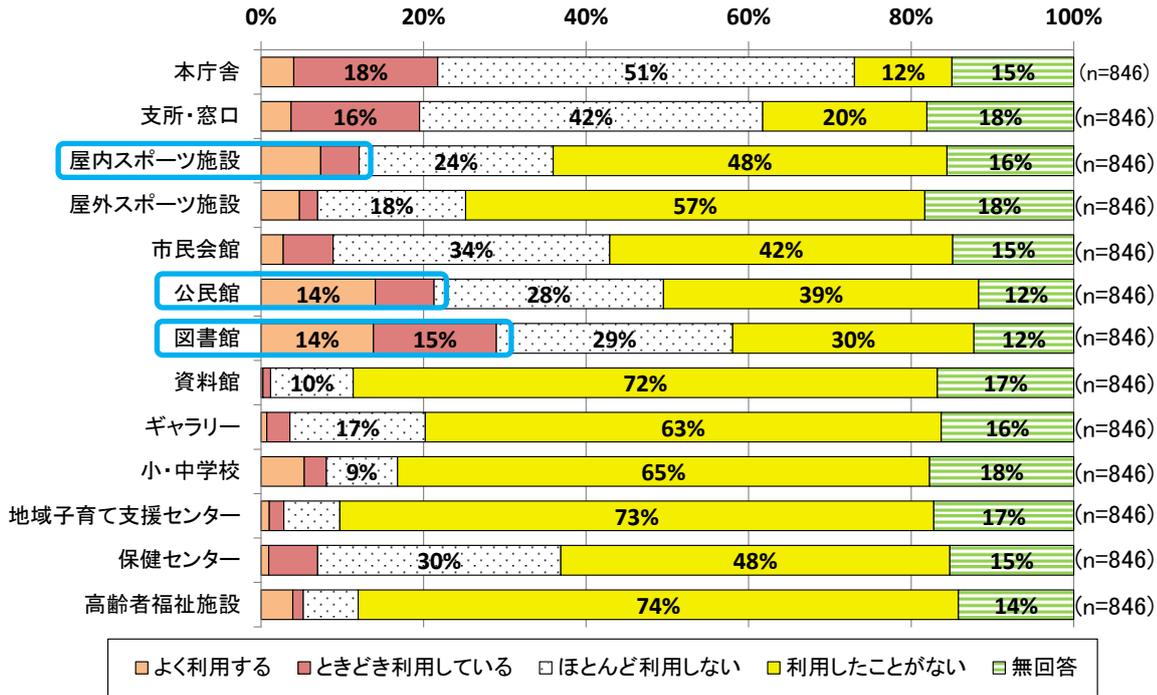
- ① 「教育環境が良い」には0.4%と低い回答
- ② 「行政サービス(福祉・子育て)が充実している」には1%と低い回答
- ③ 「公共施設が充実している」には1%と低い回答



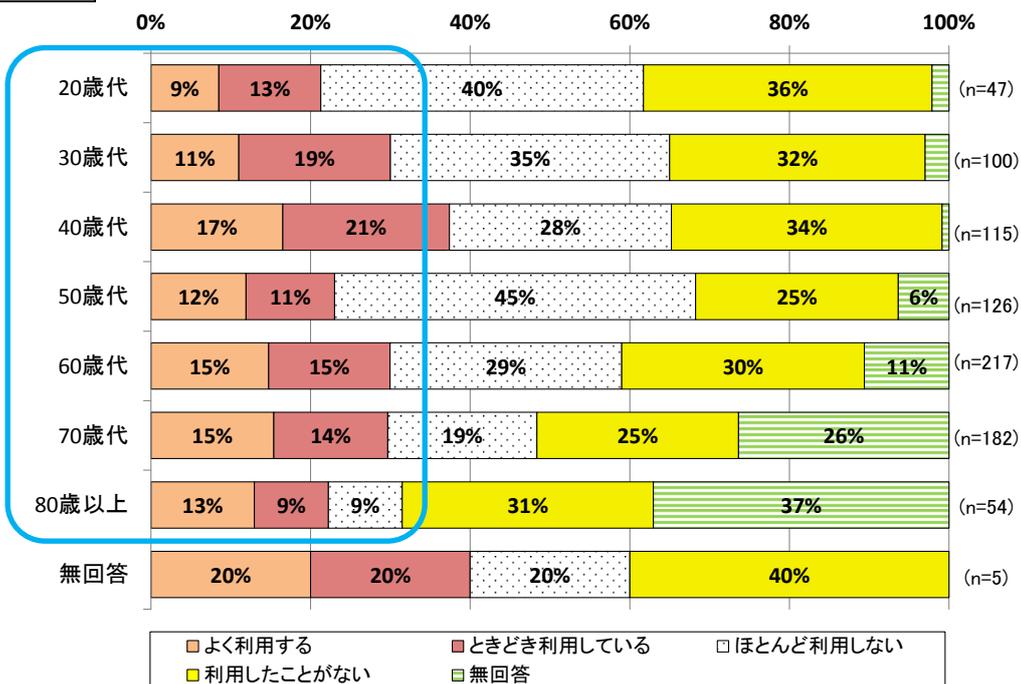
(4) 公共施設を利用している頻度 (問 11-1)

<利用の傾向>

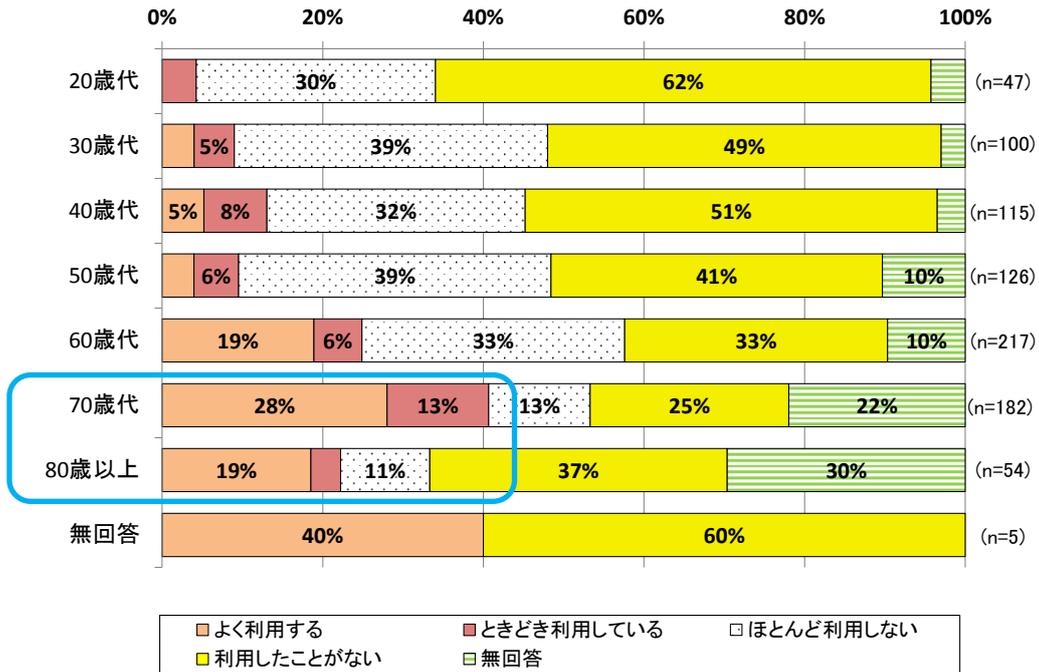
- 比較的に利用されている施設は、庁舎以外では「図書館」「公民館」「屋内スポーツ施設」
- 「図書館」では、幅広い年齢層
- 「公民館」では 70 歳以上の年齢層
- 「屋内スポーツ施設」では 30~40 歳代の子育て世代・60~70 歳代のシニア世代が利用している割合が比較的高くなっています。



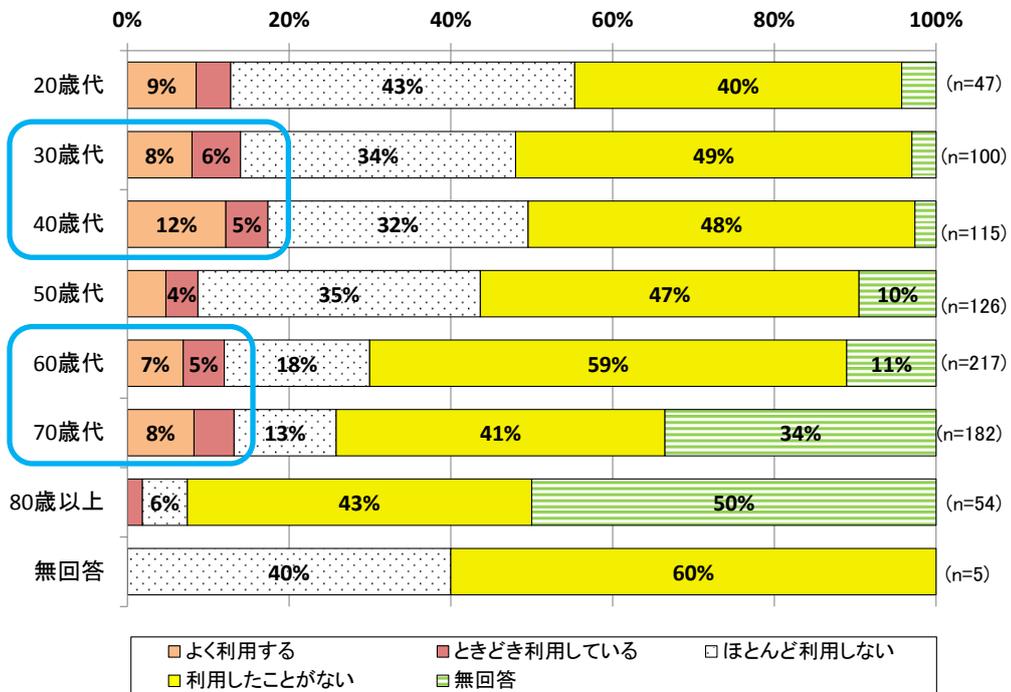
図書館 (年代別)



公民館（年代別）

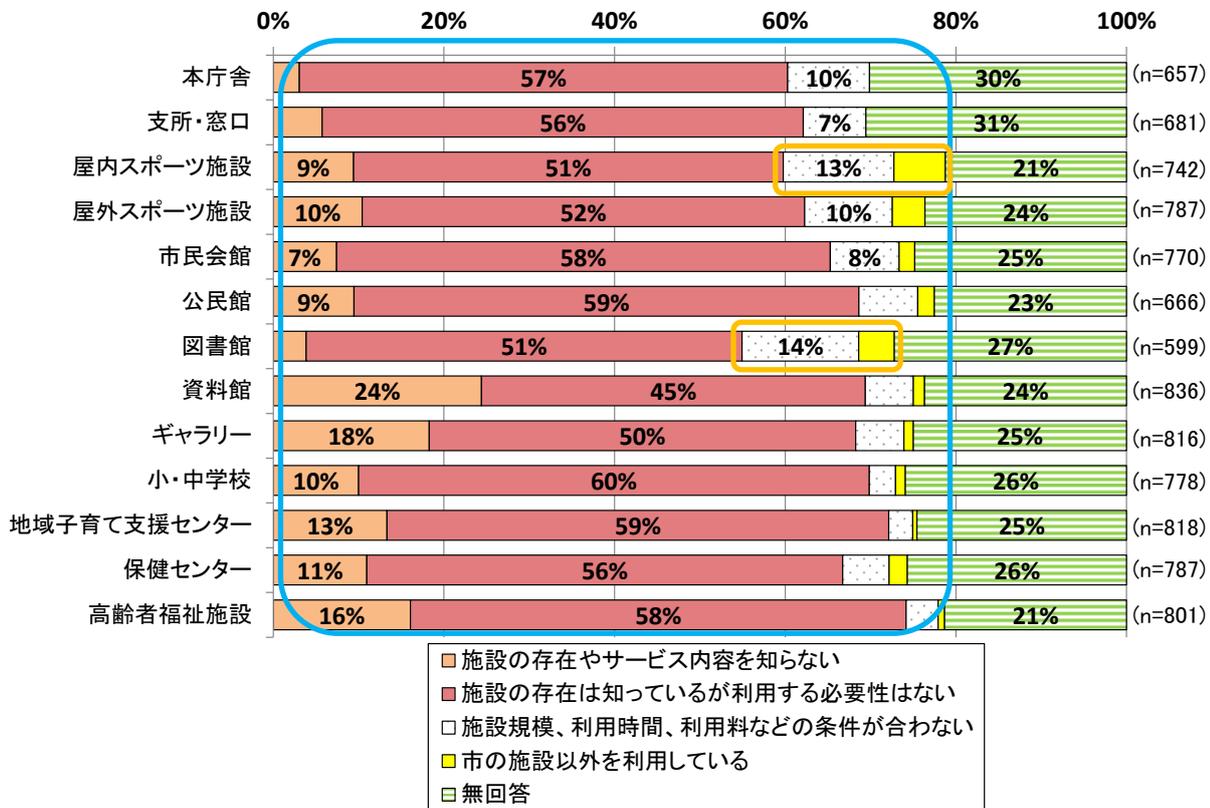


屋内スポーツ施設（年代別）



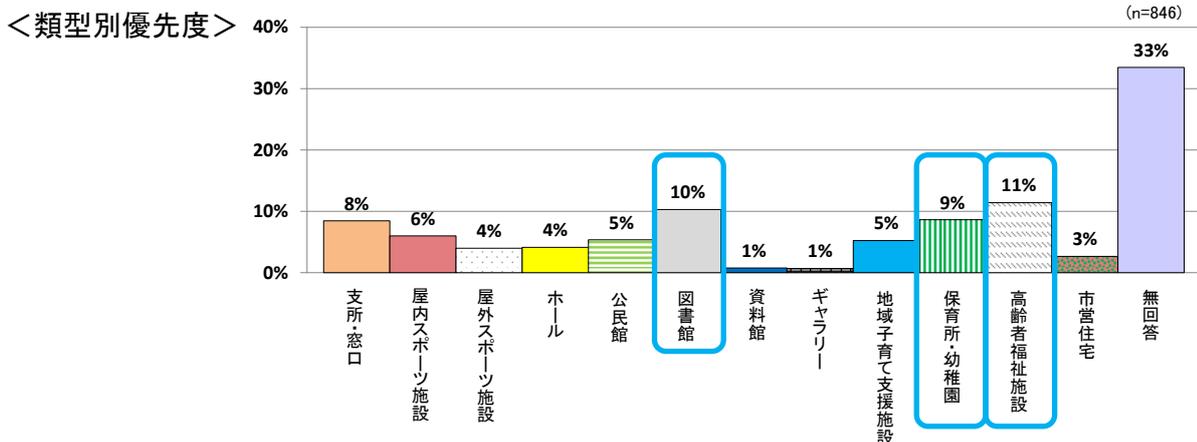
(5) 「ほとんど利用しない」「利用したことがない」人の理由 (問 11-2・3)

- ・「存在は知っているが利用する必要がない」が6割以上を占めています。
- ・「屋内スポーツ施設」「図書館」は近隣市での利用が若干見られ、条件が合わないを含めると、2割程度を占めています。

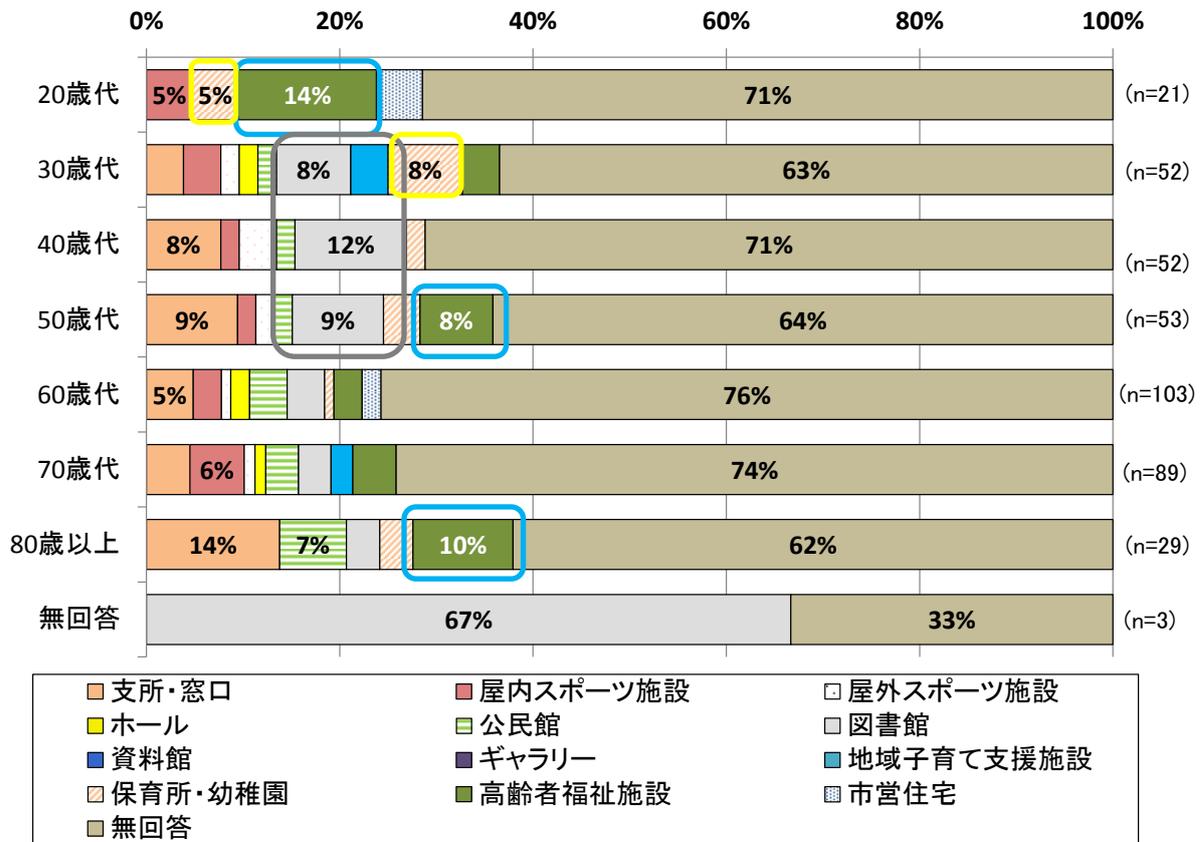


(6) 優先的に維持すべき機能 (問 13)

- ・全体では①高齢者福祉施設, ②図書館, ③保育所・幼稚園となっており, 高齢者・子ども関連施設を重要視していることがわかります。
- ・年代別では, 20~30歳代で保育所・幼稚園
20歳代・50歳代・80歳代で高齢者福祉施設
30~50歳代で図書館 を優先する意見が多くみられます。



<年代別優先度>



(7) 推進すべき方策について (問 14)

<推進に賛成する上位意見>

- ① 利用されていない土地を売却・賃貸して財源にする。(賛成率 93.6%)
- ② 施設を計画的に修繕し、より長く利用できるようにする。(長寿命化) (賛成率 85.3%)
- ③ 施設の整備や運営に、民間のノウハウや資金を活用する。(賛成率 84.7%)

<推進に反対する上位意見>

- ① 市民の負担を増やしても、現在ある施設を維持する (賛成率 20.0%)
- ② 施設におけるサービス水準を下げる (賛成率 28.7%)

